

調査票(事業所用)の記入のしかた

保存版 本書は調査終了まで使用します。 **大切に保管してください。**

調査票を記入する前に、よくお読みください。

| | |
|----------------------------|-------|
| 調査票(事業所用) 記入例 | P 2～3 |
| 1. 貴事業所全体の月間売上(収入)金額 | P 4～5 |
| 2. 貴事業所の主な事業活動の種類 | P 5 |
| 3. 貴事業所の月末の従業者数 | P 6 |
| 4. 法人番号 | P 6 |
| よくあるお問い合わせ・お問い合わせ窓口 | P 8 |

サービス産業動態統計調査について

我が国におけるサービス産業の事業活動の動態を明らかにすることを目的として、毎月調査します。

調査票の回答方法

- 調査票は、インターネット又は郵送によりご回答ください。
- インターネット回答については、「インターネット回答ガイド」をご覧ください。

調査票の記入に当たっての留意事項

- **事業所**単位の調査票です。サービス産業に含まれる事業を行っている事業所にお配りしています。
- ご提出いただいた調査票の内容について、後日、おたずねすることがありますので、控えをお手元に保管していただきますようお願いいたします。

記入上の注意点

- 黒又は青のボールペンなどで、はっきり記入してください(摩擦熱でインクが消えるボールペンは使用しないでください)。
- 内容を訂正する場合は、二重線で消し、正しい内容を記入してください(訂正印は不要)。
- 数字を記入する欄について、**売上金額がない場合や該当者がいない場合には空欄にせず、「0」と記入**してください。
- 金額欄は、千円未満を四捨五入し**千円単位**で記入してください。また、「¥」記号は付けないでください。

調査票（事業）

1 か月目用調査票

秘 基幹統計調査

サービス産業動態統計調査 1 か月目用調査票（事業所用）

(住所・宛先) 〒162-0000

東京都新宿区若竹町 3-2-1 若竹第 3 ビル 1 階

レストラン トーケイ

経理課 ~~田中様~~

統計太郎

1(1)

20××年01月分とその前月分について記入してください。

(名称・所在地)

レストラン トーケイ

東京都新宿区若竹町 3-2-1 若竹第 3 ビル 1 階

前調査票の内容について
所属部署名 経理課
記入者氏名 統計太郎
電話番号 (03)

1

1. 貴事業所全体の月間売上(収入)金額

1.(1) 消費税の税込み記入・税抜き記入の別

1.(2) 欄は、できる限り「1 税込み」で記入してください。ただし、税込みで記入できない場合は、「2 税抜き」で記入してください。

選択した記入方法を○で囲んでください。

1 税込み

2 税抜き

1(2)

1.(2) 売上(収入)金額

金額は、千円未満を四捨五入し記入してください。
一時的に売上(収入)金額がない場合は、売上(収入)金額を「0」とし、備考欄②にその状況について記入してください。

| | 百億 | 億 | 百万 | 万 | |
|----|----|---|----|-----|-------|
| 前月 | | | 5 | 000 | ,000円 |
| 今月 | | | 6 | 100 | ,000円 |

(備考欄①)

売上(収入)金額について、前年同月と比べ特記すべき変動・状況などがある場合は、具体的に前年同月と比較できない場合は前月との比較を記入してください。
例: 前年よりも連休の期間が長かったため、売上げが大幅に増加した。

季節限定メニューである「△△セット」の値のため

2

2. 貴事業所の主な事業活動の種類

記載してある事業活動と現在行っている主な事業活動が同じであれば、その右の選択肢の「1 はい」を、異なる場合は「2 いいえ」を○で囲んでください。

貴事業所の主な事業活動

76-06

その他の飲食店

選択肢を○で囲んでください。

現在行っている主な事業活動の内容を記入してください。

(左の選択肢で「2 いいえ」を選択した場合のみ)

1 はい

2 いいえ

76-01

食堂、レストラン(和食・洋食・中)

3

3. 貴事業所の月末の従業者数

・月末に最も近い営業日の状況を記入してください。

※該当する従業者がいない場合は空欄にせず、「0」人とご記入ください。

(1) ① 貴事業所に所属する従業者総数
正社員やパート・アルバイト、有給役員などを含みます。

| | | | | |
|----|--|--|---|---|
| 前月 | | | 6 | 人 |
| 今月 | | | 7 | 人 |

(1) ② 送出者

①のうち他の企業などへ出向又は派遣している人

| | | | | |
|----|--|--|---|---|
| 前月 | | | 1 | 人 |
| 今月 | | | 1 | 人 |

(2) 受入者

①のほかに他の企業などから出向又は派遣され、貴事業所で働いている人

| | | | | |
|----|--|--|---|---|
| 前月 | | | 1 | 人 |
| 今月 | | | 0 | 人 |

4. 法人番号

・指定されている法人番号(13桁)を記入してください。
・法人番号については、法人番号指定通知書
・印字されている内容に変更がある場合は、二

1 2 3 4 5 6

法人番号が指定されていない場合は右記の□に「/」印を記入してください。

★2

現在、店舗の拡張工事を実施中。

3月1日から店舗を拡張してリニューアルオープン。

1 今月他社(団体等)との合併
2 今月分社化(法人の分割)が
3 今月資本金の変更があった

A

印字されている年月の状況について記入してください。

- 1 か月目用調査票のみ、印字されている年月分とその前月分についてご回答ください。
- 2 か月目以降は、印字されている年月(当月分)について、ご回答ください。

B

(名称・所在地)

事業所単位の調査票です。会社企業全体ではありません。

(名称・所在地)に印字されている事業所が、この調査票に記入していただく対象事業所です。

- ✓ 印字されている内容に変更がある場合は二重線で消して、訂正してください。
 - 略称ではなく正式名称を記入してください。
 - 実際に事業を行っている所在地を記入してください。
 - ビルなどの中にある場合は、ビルの名称と入居している階(マンションの場合は号室まで)を記入してください。

C

所用) 記入例

この調査票は、統計法に基づき統計調査で、報告の義務があります。ご記入の正確性を確保するため、おのりまを記入してください。誤りや不明な点、税務資料などに使われることはありません。参考して記入してください。

総務省統計局

記入の際は、照会する場合がありますので、記入をお願いします。

課長 太郎

〒123-456 (内線:)

に記入してください。

下げキャンペーンが好評

等各種料理を提供)

ください。
又は国税庁法人番号公表ウェブサイトを確認できます。
二重線で消して修正してください。

7 8 9 0 1 2 3

法人番号なし *

が
が

2か月目以降に使用する調査票

サービス産業動向統計調査 調査票 (事業所用)

20 年 月 日

1 1(1)

1 1(2)

1

2

3

2

1

1(1) 消費税の税込み記入・税抜き記入の別
できる限り、**税込み**で記入してください。
→ **4** ページ

1(2) 月間売上 (収入) 金額
貴事業所の月間売上 (収入) 金額*を記入してください。
※サービス等を提供した対価
→ **4** ページ・**5** ページ

★1 備考欄① → **4** ページ

(記入者の連絡先)
実際に調査票を記入される方の所属部署名・氏名・電話番号を記入してください。
ご記入いただいた内容について、後日おたずねすることがあります。

2 **主な事業活動の種類**
印字されている事業活動名が現在行っている主な事業活動か確認します。
1 か月目用調査票のみ記入します。
→ **5** ページ

3 **2** **月末の従業者数**
→ **6** ページ

4 **3** **法人番号**
→ **6** ページ

★2 **備考欄②** → **6** ページ

1. 貴事業所全体の月間売上(収入)金額

| 1. 貴事業所全体の月間売上(収入)金額 | | 1. (1) 消費税の税込み記入・税抜き記入の別 | |
|--|--------------------------|--|-------|
| 1. (2) 売上(収入)金額 金額は、千円未満を四捨五入し記入してください。 一時的に売上(収入)金額がない場合は、売上(収入)金額を「0」とし、備考欄②にその状況について記入してください。 | | 【備考欄③】 売上(収入)金額について、前年同月と比べ特記すべき変動・状況などがある場合は、具体的に記入してください。 前年同月と比較できない場合は前月との比較を記入してください。 ※前年よりも連休の実施があったため、売上げが大幅に増加した。 | |
| 前月 | 百 千 万 円 5 0 0 0 ,000円 | 1 税込み | 2 税抜き |
| 今月 | 百 千 万 円 6 1 0 0 ,000円 | 季節限定メニューである「△△セット」の値下げキャンペーンが好評のため | |

1. (1) 消費税の税込み記入・税抜き記入の別

- 消費税の計上の有無について、該当する方を、○で囲んでください。
- 売上(収入)金額は、できる限り「**税込み**」で記入してください。
- あらかじめ○が付いている場合は確認してください。訂正がある場合は、二重線で消して正しい方を○で囲んでください。

1. (2) 売上(収入)金額

・「**売上(収入)金額**」とは、貴事業所において**サービス等を提供した対価として得られたもので、仕入高や給与などの経費を差し引く前の金額**をいいます。

売上(収入)金額は、貴事業所における**全売上(収入)金額**を記入してください。

- 金額欄は、千円未満を四捨五入し**千円単位**で記入してください。
- **会社以外の法人及び法人でない団体は、事業活動によって得られた収入(利用料など)があれば記入してください。指定管理料も含まれます。**
- 事業活動を継続するための収入(運営費交付金、寄付金、献金、補助金、会費、会員の負担金など)は含めないでください。
- 代金が貴事業所に直接支払われず、本社等に振り込まれている場合(修理センターなど)は、その振込代金は本社等の売上(収入)金額ではなく、**実際にサービスを提供した事業所の売上(収入)金額**としてください。
- 正確な売上(収入)金額がどうしても把握できない場合は、概算額を記入してください。
- **売上(収入)金額が発生しなかった月は「0」と記入し、その理由を【備考欄②】に記入してください(季節的要因等によって一時的に売上(収入)金額がない場合も含まれます)。**

備考欄①

- 前年同月と比べ特記すべき変動・状況などがある場合は、具体的に記入してください。
- 前年同月と比較できない場合は、前月と比較し売上(収入)金額の増減理由を記入してください。

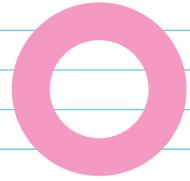
- 記入例**
- ✓ 宣伝広告を出したことにより、前年同月と比べ契約数が増えた。
 - ✓ 天候(連休)の影響により前年同月と比べ利用者数が増えた/減少した。
 - ✓ 1年前より人員を増やし、販売促進に注力した。

売上(収入)金額の計上時点について

- **売上(収入)金額は、代金を受領した月ではなく、サービス等を提供した月に計上**してください。
例)・学習塾などで授業料を3か月分まとめて受け取った場合、授業を実施した期間(3か月間)で均等割りして計上してください。
・ソフトウェア開発などの長期にわたる事業については、進行状況に応じて計上してください。
- 売上(収入)金額は、**月初めから月末までの1か月間の金額**を記入してください。やむを得ない場合は、一定の日を定めてその日から1か月間の金額を記入することは差し支えありませんが、翌月以降の調査票においても同一の期間で記入してください。
- 年間契約、指定管理料、委託料等一括の売上げがサービス等を提供した月にどうしても計上できない場合は、**契約期間等の参考情報(〇年〇月～△年△月分計上等)**を【備考欄②】に記入してください。

◎ 売上（収入）金額に含めるもの

| 業種・業態 | 売上（収入）金額に含めるもの |
|-------------|--|
| 新聞業・出版業 | 新聞売上高、広告収入など |
| 広告業 | 広告制作料、媒体手数料など |
| 道路旅客運送業 | 旅客運賃、手荷物運賃、物品保管料、広告料など |
| 道路貨物運送業 | 物流事業収益、構内作業及び機械荷役事業収益など |
| 不動産取引業 | 不動産販売高、代理手数料収入、仲介手数料収入など |
| 駐車場業 | 駐車料金、月ぎめ契約料金など |
| マンション管理業 | マンション管理費など |
| 物品賃貸業 | 賃貸料、リース料、レンタル料など |
| 公認会計士事務所 | 報酬、契約料など |
| ホテル業 | 室料、料理・飲料代など |
| 取次店 | 取次手数料（クリーニングや写真（現像・焼付・引伸）などの取次手数料） |
| 理容業・美容業 | 整髪料、パーマ代、カット代、メイク代、着付け代など |
| 旅行業 | 運送、宿泊等の契約料など |
| 結婚式場業 | 結婚式代、披露宴代など |
| 写真業 | 写真撮影料、フィルム現像料、焼付料、引伸料など |
| 学習塾 | 授業料、月謝など |
| 病院 | 入院診療収益、室料差額収益、外来診療収益、保健予防活動収益、医療保険からの受取保険料など |
| 療術業 | あん摩料、マッサージ料、指圧料、医療保険からの受取保険料など |
| 特別養護老人ホーム | 介護報酬、利用者負担金、基本食事サービス代、介護保険からの受取保険料など |
| 有料老人ホーム | 入居金、介護報酬、管理費、食費、個別有料サービス代、介護保険からの受取保険料など |
| 産業廃棄物処理業 | 運搬料金、中間処理料金、最終処分料金、自治体等からの受託料など |
| 自動車整備業 | 車検整備代、定期点検整備代、事故整備代など |
| 職業紹介・労働者派遣業 | 人材派遣・請負、人材紹介事業収入、アウトソーシング事業収入など |
| 建物サービス業 | ビル清掃契約料、保守料など |
| 受託販売業・委託販売業 | 受託販売によって得た販売手数料収入や、委託先で販売した実際の販売額 |
| その他 | 商品や製品などを自家用に消費したり他人に贈与した場合の、金額に換算した額 |



◎ 売上（収入）金額に含めないもの

- ・預金・有価証券などから生じた事業外の利子・配当収入
- ・事業外で有価証券、土地や建物などの財産（資産）を売却して得た収入
- ・借入金、繰越金
- ・本所・本社・本店などから支給される支所・支社・支店の運営経費
- ・事業活動を継続するための収入（運営費交付金、寄付金、献金、補助金、会費、会員の負担金など）



2. 貴事業所の主な事業活動の種類

※ 1 か月目用調査票のみ記入します。

| | | |
|---|--|--|
| <small>記載してある事業活動と現在行っている主な事業活動が同じであれば、その右の欄の「1 はい」を、異なる場合は「2 いいえ」を○で囲んでください。</small> | 貴事業所の主な事業活動 7.6-0.6 その他の飲食店 | <small>選択肢を○で囲んでください。</small> 現在行っている主な事業活動の内容を記入してください。 <small>(左の選択肢で「2 いいえ」を選択した場合のみ)</small> |
| | 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> はい いいえ | 7.6-0.1 食堂、レストラン(和食・洋食・中華等各種料理を提供) |

- ・【主な事業活動の種類】としてあらかじめ記載されている事業活動が、現在の事業活動と相違ない場合は「1 はい」を○で囲んでください。異なる場合は「2 いいえ」を○で囲んで、正しい事業活動名及びそれに対応する分類番号（別冊「事業活動一覧」を参照）を右側の記入欄に記入してください。
- ・主な事業活動がサービス産業以外であれば、分類番号を「10-00」として記入し、具体的にどのような事業を行っているのか記入してください。ご記入内容について照会させていただく場合があります。

3. 貴事業所の月末の従業者数

※2か月目以降の調査票は『2. 貴事業所の月末の従業者数』

| | (1) ① 貴事業所に所属する従業者総数 ・正社員やパート・アルバイト、有給役員などを含みます。 | (1) ② 送出处 [3のうち他の企業などへ出向又は派遣している人] | (2) 受入者 [1] ①のほかに他の企業などから出向又は派遣され、貴事業所で働いている人 |
|----|---|---------------------------------------|--|
| 前月 | □□□, □□□ 6人 | □□□, □□□ 1人 | □□□, □□□ 1人 |
| 今月 | □□□, □□□ 7人 | □□□, □□□ 1人 | □□□, □□□ 0人 |

3. (1) ① 貴事業所に所属する従業者総数

・月末に最も近い営業日の状況を記入してください。

- ・有給役員、個人事業主、無給の家族従業者、正社員・正職員、パート・アルバイト、契約社員、嘱託社員、日々雇用している人などを含めた人数を記入してください。
- ・出向又は派遣として他の企業などで働いている人を含めます。

3. (1) ② 送出处

・貴事業所から出向又は派遣として他の企業などで働いている人数を記入してください。

3. (2) 受入者

- ・労働者派遣法という派遣労働者のほかに、在籍出向など出向元に籍がありながら、貴事業所で働いている人数を記入してください。
- ・業務委託の人は含めないでください。
- ・出向又は派遣として働いている人数が把握できない場合は、その旨を〔備考欄②〕に記入してください。

※該当者がいない場合は、空欄にせず「0」人と記入してください。

4. 法人番号

※2か月目以降の調査票は『3. 法人番号』

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------------|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 法人番号が指定されていない場合は右記の□に「✓」印を記入してください。 | | | | | | | | | | 法人番号なし * | | |

- ・印字されている13桁の法人番号を確認してください。空欄の場合は、法人番号を記入してください。
- ・法人番号が指定されていない場合は、「法人番号なし □」に「✓」印を記入してください。
- ・印字されている内容（*が印字されている場合も含む）に訂正がある場合は、二重線で消して、余白に正しい法人番号等を記入してください。
- ・法人番号は、法人番号指定通知書又は「国税庁法人番号公表ウェブサイト」で確認できます。
- ・マイナンバー（個人番号）は絶対に記入しないでください。

備考欄②

〔備考欄②〕貴事業所について大きな変化があった場合は、その状況を記入してください。

現在、店舗の拡張工事を実施中。
3月1日から店舗を拡張してリニューアルオープン。

- 1 今月他社（団体等）との合併があった
- 2 今月分社化（法人の分割）があった
- 3 今月資本金の変更があった

- ・貴事業所について、大きな変化があった場合は、その状況を記入してください。
一時的に売上（収入）金額がない場合はその状況について記入し、売上（収入）金額を「0」としてください。
- ・選択肢に該当する項目があれば、番号を○で囲み、詳細を記入してください。

記入例 ✓ ○月○日～△月△日は冬期休業期間のため、売上金額がなかった。

「指定管理者制度」を導入している事業所の記入方法

「指定管理者制度」とは、地方自治体が所管する公の施設の管理・運営を、指定した民間事業者等（指定管理者）に委任する制度のことです。

《調査対象事業所の名称・所在地》欄に印字されている事業所が調査事業所です。地方公共団体と指定管理者の両方に対して調査を実施する場合がありますので、調査対象をご確認のうえ、ご記入をお願いいたします。

※1 調査票上部の数字末尾が「2」…調査対象は **地方公共団体**

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

※2 調査票上部の数字末尾が「2」以外…調査対象は **指定管理者**

【例】「〇〇市立産業会館」が指定管理者制度を導入し、「××株式会社」が管理・運営しているケース

- 従業員は総数5名。うち「××株式会社」の社員が4名、「〇〇市」の職員が1名である。
- 「〇〇市」から指定管理者である「××株式会社」に対して**指定管理料2,000千円（月額）**が支払われている。
- 「××株式会社」から「〇〇市」に**納付金1,000千円（月額）**が支払われている。
- 利用者は、**利用料を1回につき500円**を支払っているが、そのうち「××株式会社」が**300円**、「〇〇市」が**200円**をそれぞれ受け取っている。
- 調査当月の利用者数は**1,000人**である。

〇〇市立産業会館（地方公共団体）の場合

1. (2) 売上(収入)金額
-金額は、千円未満を四捨五入し記入してください。
-一時的に売上(収入)金額がない場合は、売上(収入)金額を「0」とし、備考欄にその状況について記入してください。

前月 1,200,000円

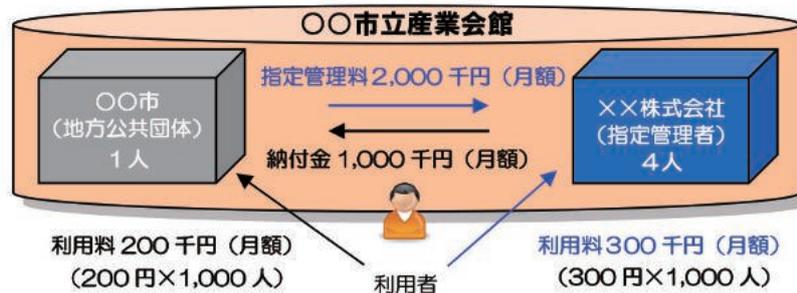
1. (1) 調査対象事業所に所属する従業員総数
-正社員、パート・アルバイト、有給者などを含みます。

前月 1,000人

2. (2) 売上(収入)金額：利用料(200千円) + 納付金(1,000千円)

3. (1) ①従業員総数：〇〇市が雇用する職員数

3. (2) 受入者：〇〇市が直接受け入れている派遣又は出向の方の人数
指定管理者及び業務委託の従業員は含めないでください。



××株式会社（指定管理者）の場合

1. (2) 売上(収入)金額
-金額は、千円未満を四捨五入し記入してください。
-一時的に売上(収入)金額がない場合は、売上(収入)金額を「0」とし、備考欄にその状況について記入してください。

前月 2,300,000円

1. (1) 調査対象事業所に所属する従業員総数
-正社員、パート・アルバイト、有給者などを含みます。

前月 4,000人

2. (2) 売上(収入)金額：利用料(300千円) + 指定管理料(2,000千円)

3. (1) ①従業員総数：××株式会社が雇用する社員数

3. (2) 受入者：××株式会社が直接受け入れている派遣又は出向の方の人数
地方公共団体側及び業務委託の従業員は含めないでください。

よくあるお問い合わせ

Q1

あらかじめ印字されている事業活動が異なりますが、どのように記入したらよいですか。
(1か月目用調査票のみ)

- 印字されている事業活動が異なる場合は、「2 いいえ」を○で囲み、別冊「事業活動一覧」をご確認の上、正しい事業活動名及びそれに対応する分類番号を右側に記入してください。
- サービス産業以外であれば、分類番号を「10-00」として記入し、具体的にどのような事業を行っているのか記入してください。ご記入内容について照会させていただく場合があります。どうしてもわからない場合は、下記お問い合わせ窓口までお問い合わせください。

Q2

売上（収入）金額は、実際に入金された月に記入するのですか。

実際に入金された月ではなく、サービスを提供した月に記入してください。詳しくは、4ページをご確認ください。



《調査票に記入された内容は、統計法によって保護されています》

統計法（平成19年法律第53号）では、調査を実施する関係者（国の職員、業務を委託した民間事業者など）には調査によって知ったことを他に漏らしてはならない義務を規定しています。さらに、これらに反したときには罰則が定められています。なお、ご回答いただいた内容は、「統計法」に定められている利用目的以外（例えば徴税資料など）に使用することはありません。

ご不明な点は、下記お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口 サービス産業動態統計調査実施事務局

【フリーダイヤル】 ☎ 0120-425-150（無料） ※おかけ間違いのないようお願いいたします。

【直通電話】 03-6736-0959（有料） ※IP電話などフリーダイヤルに接続できない場合

【受付時間】 平日（土・日・祝日・年末年始を除く）9：00～18：00